

政務活動(議員研修) 報告書

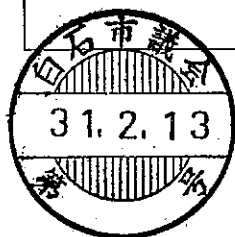
平成31年2月13日

白石市議会議長 志村 新一郎 殿

議員氏名 佐久間 儀 郎

下記のとおり行いましたので報告いたします。

期 間	平成31年2月4日(月) ～ 2月5日(火)
調査・研修 訪問先	立川市役所・産業文化スポーツ部(研修) 国会議事堂、衆議院予算委員会(傍聴) 衆議院第二議員会館 西村明宏議員室(表敬)
調査事項 (研修事項)	・東京女子体育大学・東京女子体育短期大学との連携事業について ・国会議事堂、衆議院予算委員会質疑論戦について
対応者・講師等	立川市産業文化スポーツ部スポーツ振興課 講師：課長 久保 義彦 氏 立川市産業文化スポーツ部オリンピック・パラリンピック準備室 講師：室長 下河辺 康 氏 立川市産業文化スポーツ部スポーツ振興課 準講師：係長 石川 勝則 氏
概 要 ① 背景・目的 ② 内容・特色 ③ 主な質疑 ④ 考察 (感想、課題、 政策提言等)	◎「東京女子体育大学・東京女子体育短期大学との連携事業について」 (1) 事業の経緯・概要 経緯；2013年の東京都国体開催時に東京女子体育大学と立川市が協働 で、※「ゆりーと体操」の地域への普及を行った。このことを契機 として「東京女子体育大学・東京女子体育短期大学と立川市との連 携・協力に関する連絡協議会」を設置し、現在に至る。 ※「ゆりーと体操」とは、東京都のスポーツ親善大使のマスコットゆりー とが、体操をするDVDを作成し、この体操を都民に広めようとしたもの。 概要；学長や市長などで構成する「連絡協議会」では、文化、教育、学 術、スポーツ、地域振興、まちづくり等の分野での包括的な連携・ 協力により、相互の発展及び充実を図り、ともにまちづくりを進め ていく強固なパートナーシップの基礎とするため、『東京女子体育大 学・東京女子体育短期大学と立川市との連携・協力に関する協定書』 を締結している。 連絡協議会は、以下の事項を実施するため関係部署の課長職で



構成する「連絡協議会幹事会」を設置している。

市の関係部署；産業文化スポーツ部長・総合政策部企画政策課長・産業文化スポーツ部スポーツ振興課長・産業文化スポーツ部オリンピック・パラリンピック準備室長・福祉保健部健康づくり担当課長・教育委員会事務局教育部指導課長・教育委員会事務局教育部生涯学習センター長

○連携・協定事項

- ・スポーツ振興に関すること
- ・オリンピック・パラリンピック等国際競技大会開催に伴う機運醸成に関すること
- ・地域振興・まちづくりに関すること
- ・人材育成に関すること
- ・学術研究及び教育に関すること
- ・生涯学習に関すること
- ・健康に関すること
- ・災害対策に関すること
- ・その他必要と認める事項

(2) 具体的な事業内容及び特色

年1回、連絡協議会幹事会を開催。また、市が行う事業に大学より講師として教授等の派遣、学生ボランティアの協力を得ており、大学が実施する事業や教室を市報で知らせることや会場の提供等を実施。

主な事業例 ・スポーツ推進審議会の委員（会長の委嘱）

- ・バトミントンワンポイントレッスン
- ・卓球ワンポイントレッスン
- ・オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致
- ・東京女子体育大学特別講座
- ・中学校部活動技術指導〔卓球部、女子バレー部〕
- ・公開講座広報等PR〔幼児講座・小学生講座・高校生講座・成人講座・共通講座、計20講座〕
- ・市民体育大会陸上競技〔大学陸上競技場を借用して大会開催〕
- ・立川市・東京女子体育大学にゆかりのあるアスリート展示〔東京女子体育大学にゆかりのあるオリンピックのユニフォームやサイン、大会の記念皿等を借用し、立川市にゆかりのあるアスリートの資料やオリンピック・パラリンピック関連書籍とあわせて、中央図書館にて展示〕
- ・オリンピック派遣事業〔市内小学校での講演会及び実技指導〕
- ・立川シティハーフマラソン

(3) 事業実施における成果・効果

連携協定により、年に1回開催される連絡協議会幹事会の議題として、大学と市との連携事業の実績と予定を報告することで、連携の確認と新たな連携の開始を容易にしている。

(4) 事業の今後の課題等

2020 東京オリンピック・パラリンピックが、スポーツを広める好機と考えており、連携・協力に関する協定の中心的な目的は、「オリンピック・パラリンピック等国際競技大会開催に伴う機運醸成に関すること」である。大会終了後、レガシーを築き、スポーツに係る大きなイベントが無くても、市民のスポーツに対する関心を継続できるように、連携・協力を継続して行くことである。

<感想>

今回は、当市が、2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けて、柴田町・仙台大学とともに東京オリ・パラ事前合宿招致推進協議会を結成し、ベラルーシ体操協会と事前合宿を行う協定を平成 29 年 6 月 14 日に締結。同様に立川市がベラルーシ共和国の新体操事前合宿の受け入れ自治体になっていることから、互いの繋がりができたことで、来白の際に立川市長からの訪問受け入れの話もあって、行政視察が実現しました。

立川市は、東京女子体育大学・東京女子短期大学と包括的な連携・協力に関する協定を締結しており、相互の発展及び充実を図るだけでなく、文化・教育・学術・スポーツ・地域振興・まちづくり等の分野において、地域の発展と人材の育成にかかる先進的な取り組みをしていました。上記のとおり、取組はオリ・パラ関連事業に限らず、学校教育関連事業、スポーツ振興関連事業、教室・講座の開催、講師の派遣、イベント等協力など多岐にわたっています。

そのなかの一事業で、東京女子体育大学・東京女子短期大学のオリンピックに纏わる品々の展示会なども行っており、白石市においても開催できればと、同僚議員から立川市の仲介を打診したところ協力を惜しまないとの対応でした。市民始め多くの方々に東京オリ・パラの気運を醸成するのに有効な事業になると確信するので、是非首長トップ同士で詰めていただき、是非実現することを願うものです。

また、今回のご縁を大事にして、議会サイドからも立川市との交流が進むことを大いに期待するものです。

◎国会議事堂、衆議院予算委員会質疑論戦について

当日は、平成 30 年度補正予算（第 2 号）の基本的質疑の日程で 4 つの

会

派（立憲・国民・共産・維新）が発言予定になっていました。傍聴入室すると、国民民主党首玉木雄一郎議員が質疑中でした。いわゆる「不正統計問題」関連で、これまでの賃金率の公表がでたらめであろうと政府に詰め寄る場面が何度も繰り返されていました。

マスコミ各社の撮影、NHKのTV中継もあって、根元匠厚労大臣をはじめ政府の答弁が遺憾ながら歯切れがわるく、野党委員からのやじの応酬もあって、委員会内は独特の緊張と熱気に満ちていました。